

## これまでの環境省の分散化の取組

### 1 経緯

- 平成 13, 14 年 ・環境省、農水省、文化庁合同で調査研究を実施し、委員会を設置、ツル類の分散を実現するための諸方策を検討  
・検討委員会提言（別紙 1）
- 平成 15 年～ ・ツル類分散化検討調査業務開始  
・分散のための情報交換会や検討会の実施  
・分散に必要な自然環境および社会環境の調査、情報収集等
- 平成 22, 23 年 ・高病原性鳥インフルエンザの発生（ナベヅル死亡個体 7 羽から検出） 越冬地の分散の必要性がさらに認識
- 平成 23, 24 年 ・出水市、鹿児島県、九州地方環境事務所において鳥インフルエンザに対する対策  
・分散に関するより具体的な議論を開始  
・かつてツルが分布していた地域への全国的な分散の取組が必要とのことから環境省で計画を作ること合意（別紙 2）
- 平成 25 年～ ・出水ツル分散化検討会

### 2 これまでの分散化に係る調査等

- ・ツル類国内飛来状況調査 平成 16 年度～平成 24 年度（別紙 3）
- ・非給餌地域における行動等調査（長崎県諫早干拓、熊本県玉名市横島干拓）平成 23 年度、平成 24 年度
- ・越冬ポテンシャル解析 H24 年度（別紙 4）
- ・ツル渡来地における受入れ可能性調査 H24 年度（別紙 5）
- ・パンフレットの作成 H24 年度（パンフレット：ツルが舞う豊かなまちを目指して）

### 3 情報収集（既存の調査データの取りまとめ・分析も含む）

- ・ツル類の餌資源および給餌 H19 年度、H24 年度（別紙 6）
- ・出水のねぐら推移 平成 24 年度（別紙 7）
- ・国内の生き物ブランド米の事例 H23 年度
- ・安全なツル類の捕獲方法の整理 H24 年度（別紙 8）
- ・出水地方におけるツル類の病害生物 H24 年度（別紙 9）
- ・出水地域における農業被害及びその防除について H24 年度（別紙 10）
- ・出水地域におけるツル類の飛来状況と分布 H24 年度